

「諏訪湖の浚渫課題」ワーキンググループについて

諏訪地域振興局企画振興課

1 目的

諏訪湖創生ビジョンの改定において新たな取組として明記された「利水・生態系保全を目的とした浚渫」について、地域では、実施に積極的な要望がある一方、生態系への配慮が必要という意見もあるため、諏訪湖創生ビジョン推進会議にワーキンググループを設置。令和5年度からの5年間における試行的な浚渫に向けた効果的な実施工法や場所について検討し、合意形成を図る。

2 これまでの活動内容

期日	内容	概要
R5.3.23	設置	第9回諏訪湖創生ビジョン推進会議において設置了承
R5.4.28	第1回会議	【学び】 ・これまでの水質浄化や浚渫の経過と新たな課題 ・諏訪湖で現在行われている工事や諏訪湖水辺整備基本計画等の共有 【意見交換テーマ】 利水・生態系保全のための試行的な浚渫について(実施の可否、場所、工法等)
メンバーは浚渫の実施や必要な箇所、配慮が必要な箇所について持ち帰り検討の上、提案		
R5.5.28	第2回会議	【学び】 ・浚渫の各種工法・浚渫土の処理方法 ・諏訪湖での国民スポーツ大会の概要 【意見交換テーマ】 浚渫の実施の可否、必要な箇所、配慮すべき場所や事項について (メンバー提案の浚渫が必要な箇所及び配慮が必要な箇所について検討)※浚渫が必要:11箇所、配慮が必要:6箇所
浚渫希望箇所11箇所について、必要性、公共性、有効性の観点からメンバーが点数化		
R5.6.29	第3回会議	【学び】 ・諏訪湖の底泥の環境変化 【意見交換テーマ】 浚渫が必要な箇所の優先順位付けと配慮すべき事項
R5.8.4	第4回会議	候補地2箇所(「①初島付近」、「②ヨットハーバー付近」)を現地確認し、ワーキンググループの総意として浚渫箇所を初島周辺に決定。

3 今後の予定(令和6年度)

令和5年度の実績(浚渫工事、生態系調査等)をワーキンググループで共有し、R6以降の試行的な浚渫工事に関する検討、合意形成を図る。